



ケガの保険シルバー

パーソナル生活補償保険

はじめに

■この「<パンフレット別冊>主な補償・特約のご説明」は、『GK ケガの保険 シルバー』パンフレットに掲載の補償・特約の詳細(補償内容・被保険者・保険金をお支払いしない主な場合)についてご説明しています。「保険金をお支払いしない主な場合」は、主なケースのみ記載しています。詳細は「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご確認ください。

■商品の構成や用語のご説明は『GK ケガの保険 シルバー』パンフレットをご参照ください。

目次

基本補償(傷害保険金)

死亡補償(傷害死亡保険金)	P1
後遺障害補償(傷害後遺障害保険金)	P1
入院補償(傷害入院保険金)	P1
手術補償(傷害手術保険金)	P2
通院補償(傷害通院保険金)	P2
傷害部位・症状別保険金補償特約 (傷害部位・症状別保険金)	P3
傷害長期入院保険金支払特約	P4
傷害長期入院時一時保険金支払特約	P4
傷害医療費用保険金支払特約	P4

オプション補償

日常生活賠償特約	P5
受託物賠償責任補償特約	P6
弁護士費用特約	P7
携行品損害補償特約(1事故限度額型)	P8
救援者費用等補償特約	P9
行方不明時捜索費用補償特約 (救援者費用等補償特約用)	P9
ホールインワン・アルバトロス費用補償特約	P10
育英費用補償特約	P11
傷害による家事代行費用等補償特約/ 疾病による家事代行費用等補償特約	P11

付帯サービスのご案内

生活サポートサービス	P12
ご契約者さま専用のインターネットサービス	P12
eco保険証券・Web約款	P12
家族Eye(親族連絡先制度)	P12

プランのご説明

標準プラン

「傷害死亡保険金」「傷害後遺障害保険金」「傷害入院保険金」「傷害手術保険金」「傷害通院保険金」をお支払いするプランです。

充実プラン

標準プラン に以下の補償を追加するプランです。

熱中症



熱中症危険補償特約(死亡補償対象外型)がセットされます

急激かつ外来による日射または熱射により被った身体の障害についても、「傷害後遺障害保険金」「傷害入院保険金」「傷害手術保険金」「傷害通院保険金」をお支払いします。「傷害死亡保険金」はお支払いの対象となりません。

食中毒



食中毒補償特約(条件付死亡補償型)がセットされます

細菌性食中毒およびウイルス性食中毒により被った身体の障害もケガに含まれるものとして、「傷害死亡保険金」「傷害後遺障害保険金」「傷害入院保険金」「傷害手術保険金」「傷害通院保険金」をお支払いします。ただし、「傷害死亡保険金」については、約款所定の特定の時間帯または特定の場所にいる間において細菌性食中毒またはウイルス性食中毒の原因となった食物を摂取した場合に限りお支払いします。

部位・症状別
プラン

「傷害死亡保険金」「傷害後遺障害保険金」「傷害部位・症状別保険金」をお支払いするプランです。




契約タイプ「B12」 参照 パンフレットP.4 には以下の特約がセットされます。

●傷害長期入院保険金支払特約 ●傷害長期入院時一時保険金支払特約 ●傷害医療費用保険金支払特約

基本補償(傷害保険金)

本パンフレット別冊に記載の保険金をお支払いしない場合は、主なケースのみです。他にも保険金をお支払いしない事由に該当するケースがあるため、詳細は「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご確認ください。

マークのご説明

 補償を受ける方	 補償を受ける方は保険証券記載の被保険者本人のみです。	 補償重複	同様の保険契約と補償が重複する可能性がある特約 参照 パンフレットP.14
 部位・症状別	部位・症状別プランにセットされます。		

補償内容

死亡補償(傷害死亡保険金)

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合

保険金のお支払額

傷害死亡・後遺障害保険金額の全額

※傷害死亡保険金受取人(定めなかった場合は被保険者の法定相続人)にお支払いします。

※既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合、傷害死亡・後遺障害保険金額からその額を差し引いてお支払いします。

後遺障害補償(傷害後遺障害保険金)

●傷害後遺障害等級第1～3級限定補償特約が自動セットされます

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に、約款所定の後遺障害(第1～3級)が発生した場合

保険金のお支払額

傷害死亡・後遺障害保険金額 × 約款所定の保険金支払割合(後遺障害の程度に応じて、100%～78%)

※事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療を要する状態にある場合は、181日目における医師の診断に基づき後遺障害の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。

※同一の部位で後遺障害が加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除し、控除後の保険金支払割合が後遺障害等級第1～3級に掲げる保険金支払割合以上の場合のみ保険金をお支払いします。

※既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。

入院補償(傷害入院保険金)

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に入院した場合

保険金のお支払額

傷害入院保険金日額 × 入院日数

※事故の発生の日からその日を含めて180日以内の入院を対象とし、**1事故につき、30日が限度となります。**

※傷害入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガを被った場合は、傷害入院保険金を重ねてはお支払いしません。

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人

保険金をお支払いしない主な場合

- 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ
- 原因がいかなるときでも、むちうち症・腰痛等で医学的他覚所見のないもの^(※1)
- 原因がいかなるときでも、誤嚥^(※2)によって発生した肺炎
- 被保険者が山岳登山(ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング等をいいます)、職務以外での航空機操縦、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間のケガ
- 被保険者がテストライダー、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手、プロボクサー、プロレスラー等やその他これらと同程度またはそれ以上の危険を有する職業に従事している間のケガ

- 乗用具^(※3)を用いて競技等^(※4)をしている間のケガ など
- ※標準プランと部位・症状別プランでは、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は補償の対象にはなりません。

(※1)被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。

(※2)誤嚥とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることを行います。

(※3)乗用具とは、自動車または原動機付自転車、モーターボート(水上オートバイを含みます)、ゴーカート、スノーモービル等をいいます。

(※4)競技等とは、競技、競争、興行(いずれもそのための練習を含みます)または試運転をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。

基本補償(傷害保険金)

補償内容

手術補償(傷害手術保険金)

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に被保険者が手術(*)を受けた場合(*)手術とは、以下の診療行為をいいます。

- 公的医療保険制度において手術料の対象となる診療行為。ただし、次の診療行為は保険金支払いの対象になりません。
 - ・創傷処理 ・皮膚切開術 ・デブリードマン
 - ・骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術
 - ・抜歯手術 ・歯科診療固有の診療行為
- 先進医療に該当する診療行為

保険金のお支払額

①入院中に受けた手術

傷害入院保険金日額 × 10

②上記①以外の手術

傷害入院保険金日額 × 5

※1回の手術について、上記の算式によって算出した額をお支払いします。

※次に該当する場合のお支払方法は以下のとおりです。

- ①同一の日に複数回の手術を受けた場合、傷害手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。
- ②1回の手術を2日以上にわたって受けた場合、その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとして扱います。
- ③医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合、その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとして扱います。
- ④医科診療報酬点数表において、一連の治療過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合、その手術に対して傷害手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。

通院補償(傷害通院保険金)

- 実通院日みの傷害通院保険金支払特約
- 傷害通院保険金の保険期間中の支払限度に関する特約 が自動セットされます

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に通院した場合

保険金のお支払額

傷害通院保険金日額 × 通院日数

※事故の発生の日からその日を含めて180日以内の通院を対象とし、**保険期間を通じ、30日が限度となります。**

※実際に通院した場合に限り傷害通院保険金をお支払いします。通院しない場合で、骨折、脱臼、靭帯損傷等のケガを被った所定の部位を固定するために医師の指示によりギプス等を常時装着したときに、その日数について通院したものとみなす規定は適用されません。

※傷害入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、傷害通院保険金をお支払いしません。

※傷害通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガを被った場合は、傷害通院保険金を重ねてはお支払いしません。

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人

保険金をお支払いしない主な場合

本パンフレット別冊P.1の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ

基本補償(傷害保険金)

補償内容

傷害部位・症状別保険金補償特約 (傷害部位・症状別保険金)

部位・症状別

保険金をお支払いする場合

事故の発生の日からその日を含めて180日以内に治療を要した場合

保険金のお支払額

①治療日数^(※1)の合計が5日以上の場合

傷害部位・症状別
保険金額 × ケガを被った部位およびその症状に対して定められた
保険金支払倍率(5倍~120倍)^(※2)

②治療日数^(※1)の合計が1日以上5日未満の場合

傷害部位・症状別保険金額(1倍)

(※1)治療日数とは、事故の発生の日からその日を含めて180日以内の、入院または通院の日数をいいます。ただし、通院しない場合でも、骨折、脱臼、靱帯損傷等のケガを被った所定の部位を固定するために医師の指示によりギプス等^(※3)を常時装着したときは、その日数について通院したものとみなします。

(※2)同一の事故により被ったケガの部位・症状が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目のうち最も高い支払倍率を適用します。

(※3)ギプス等とは、ギプス、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、シーネその他これらと同程度に固定することができるものをいい、胸部固定帯、胸骨固定帯、肋骨固定帯、サポーター等は含みません。

【傷害部位・症状別保険金支払倍率表】

下表は、治療日数の合計が**5日以上**の場合に支払保険金の算出に使用する「支払倍率」を表しています。

「傷害部位・症状別保険金額」にこの「支払倍率」を乗じた額がお支払いする保険金の額となります。

※治療日数の合計が**1日以上5日未満**の場合は、**部位・症状にかかわらず「傷害部位・症状別保険金額」の1倍**をお支払いします。

(単位:倍)

	頭部	顔面部			頸部	胸部、腹部	背部、腰部、臀部	上肢		下肢		全身 ^(注1)
		眼・歯以外	眼	歯				手指以外	手指	足指以外	足指	
●打撲 ●擦過傷 ●挫傷 ●捻挫 ●筋、腱、靱帯の損傷または断裂* *完全に切断されないもの	5	5	—	—	5	5	5	5	5	5	5	15
●挫創 ●挫減創 ●切創	15	15	—	—	10	15	15	10	10	10	10	35
●筋、腱、靱帯の断裂* *完全に切断されるもの	—	—	—	—	—	65	65	35	35	40	30	—
●骨折 ●脱臼	65	30	—	—	80	35	60	35	20	65	25	85
●欠損 ●切断	—	20	—	5	—	—	—	100	20	100	30	—
●頭蓋内・眼球の内出血・血腫* *脳挫傷を含む	120	—	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
●神経の損傷または断裂	120	40	60	—	40	—	40	40	30	40	30	—
●脊髄の損傷または断裂	—	—	—	—	120	—	120	—	—	—	—	—
●臓器の損傷または破裂* *手術を伴うもの ●眼球の損傷または破裂	—	—	60	—	—	90	—	—	—	—	—	—
●臓器の損傷または破裂* *手術を伴わないもの	—	—	—	—	—	55	—	—	—	—	—	—
●熱傷	5	10	—	—	5	10	10	5	5	5	5	35
その他 ^(注2)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	15

※同一の事故により被ったケガの部位・症状が上表の複数項目に該当する場合は、それぞれの項目のうち最も高い支払倍率を適用します。

(注1)上表の「全身」とは、同一の症状につき次の部位のうち3部位以上にわたるものをいいます。

①頭部 ②顔面部(眼、歯は含みません) ③頸部 ④胸部、腹部、背部、腰部または臀部 ⑤上肢 ⑥下肢

(注2)中毒症状*の支払倍率は、部位にかかわらず5倍とします。

*細菌性食中毒およびウイルス性食中毒を含みません。

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人

保険金をお支払いしない主な場合

本パンフレット別冊P.1の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ

基本補償(傷害保険金)

補償内容

傷害長期入院保険金支払特約

部位・症状別

保険金をお支払いする場合

ケガの治療のため入院した場合で、1回の事故に基づく入院日数^(*)が90日以上となったとき

(*)事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の期間は含みません。

保険金のお支払額

傷害長期入院保険金額の全額

※事故の発生の日からその日を含めて90日の整数倍となるごとにお支払いします。

傷害長期入院時一時保険金支払特約

部位・症状別

保険金をお支払いする場合

ケガの治療のため入院した場合で、1回の事故に基づく入院日数^(*)が60日以上となったとき

(*)事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の期間は含みません。

保険金のお支払額

傷害長期入院時一時保険金額の全額

傷害医療費用保険金支払特約

補償重複

部位・症状別

保険金をお支払いする場合

ケガの治療のため、事故の発生の日からその日を含めて365日以内に被保険者が次のいずれかの費用を負担した場合

- 公的医療保険制度に規定する一部負担金
- 差額ベッド代
- 入院時の療養の給付と併せて受けた食事療養に要する費用または生活療養のうち食事の提供に要する費用
- その他被保険者が病院または診療所に支払った費用
- 入院、転院または退院のための移送費および交通費
- 医師の指示により行った治療に関する費用、医師の指示により購入した治療に関わる薬剤、治療材料、医療器具に関する費用 など

保険金のお支払額

上記「保険金をお支払いする場合」の費用の額 - 免責金額(0円)

※1回の事故につき、傷害医療費用保険金額が限度となります。

※次のいずれかに該当する給付等がある場合はその額を、被保険者が負担した費用から差し引きます。

- ・公的医療保険制度または労働者災害補償制度を定める法令の規定により被保険者に対して行われる治療に関する給付
- ・加害者等から支払われる損害賠償金 など

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人


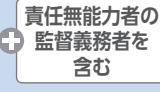


保険金をお支払いしない主な場合

本パンフレット別冊P.1の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ

オプション補償

本パンフレット別冊に記載の保険金をお支払いしない場合は、主なケースのみです。他にも保険金をお支払いしない事由に該当するケースがあるため、詳細は「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご確認ください。

マークのご説明

補償を受ける方		補償を受ける方は保険証券記載の被保険者本人のみです。	 責任無能力者の監督義務者を含む	補償を受ける方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります)を対象とします。
		補償を受ける方の範囲は、保険証券記載の被保険者本人、配偶者、同居の親族および別居の未婚の子となります。 ※親族とは、本人または配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。	 補償重複	同様の保険契約と補償が重複する可能性がある特約 参照 パンフレットP.14

補償内容

日常生活賠償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

- 保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負担することによって損害を被った場合
- 日本国内において保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、誤って線路へ立ってしまったこと等が原因で電車等^(※1)を運行不能^(※2)にさせ、法律上の損害賠償責任を負担することによって損害を被った場合

- ア. 被保険者本人の居住の用に供される住宅^(※3)の所有、使用または管理に起因する偶然な事故
イ. 被保険者の日常生活に起因する偶然な事故

	国内事故  示談交渉サービス付	国外事故
他人の生命、身体または物に対する損害賠償責任	○	○
電車等を運行不能にさせた場合の損害賠償責任	○	×

(※1) 電車等とは、電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用車をいいます。

(※2) 運行不能とは、正常な運行ができなくなることをいいます。ただし、運行することにつき、物理的な危険を伴うものをいいます。

(※3) 敷地内の動産および不動産を含みます。

保険金のお支払額

被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額	+	判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金	-	被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額	-	免責金額(0円)
-----------------------------------	---	---------------------------------	---	-----------------------------------------------------	---	----------

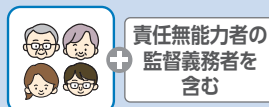
※1回の事故につき、日常生活賠償保険金額が限度となります。

※損害賠償金の額等の決定については、あらかじめ当社の承認を必要とします。

※上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。

※日本国内において発生した事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお引受します。ただし、損害賠償請求権者が同意しない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が日常生活賠償保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が当社への協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合には示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。また、話し合いでの解決が困難な場合等、当社は必要に応じ被保険者の同意を得たうえで弁護士に対応を依頼することがあります。

補償を受ける方



保険金をお支払いしない主な場合

- 被保険者の業務遂行に直接起因する損害賠償責任
 - 専ら被保険者の業務の用に供される動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任
 - 被保険者と同居する親族^(※)に対する損害賠償責任
 - 被保険者と第三者との間の約定によって加重された損害賠償責任
 - レンタル用品やゴルフ場のゴルフカートなど、他人から借りたり預かったりした財物自体の損壊について、正当な権利を有する方に対して負担する損害賠償責任
 - 被保険者の心神喪失に起因する損害賠償責任
 - 航空機、船舶・車両(原動力が専ら人力であるものおよびゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます)、銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 など
- (※) 6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族をいいます。

オプション補償

補償内容

受託物賠償責任補償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

保険期間中で、受託物^(*)を住宅内保管中または一時的に住宅外で管理している間に、損壊・紛失・盗難が生じ、受託物について正当な権利を有する方に対して法律上の損害賠償責任を負担することによって損害を被った場合

(*)受託物とは、被保険者が日本国内において、日常生活の必要に応じて他人(レンタル業者を含みます)から預かった財産的価値を有する有体物をいいます。ただし、以下の **▲補償対象外となる主な受託物** を除きます。

▲補償対象外となる主な受託物

- 通貨、預貯金証書、株券、手形その他の有価証券、印紙、切手、稿本(本などの原稿)、設計書、図案、証書、帳簿その他これらに類する物
- 貴金属、宝石、書画、骨董、彫刻、美術品その他これらに類する物
- 自動車(被牽引車を含みます)、原動機付自転車、船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます)、航空機およびこれらの付属品
- 銃砲、刀剣その他これらに類する物
- 被保険者が山岳登山(ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング等をいいます)、職務以外での航空機操縦、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に用いられる用具
- 動物、植物等の生物 など

保険金のお支払額

被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額 ^(*)	+	判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金	-	被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額	-	免責金額(1回の事故につき5,000円)
--------------------------------------------------	---	---------------------------------	---	-----------------------------------------------------	---	----------------------

(*)被害受託物の時価額が限度となります。

※保険期間を通じ、受託物賠償責任保険金額がお支払いの限度となります。

※損害賠償金の額等の決定については、あらかじめ当社の承認を必要とします。

※上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。

※受託物が盗難にあった場合は、警察への届け出が必要となります。

補償を受ける方



責任無能力者の
監督義務者を
含む

保険金をお支払いしない主な場合

- 被保険者に引き渡される以前から受託物に存在した欠陥による損害
- 受託物に発生した自然発火または自然爆発による損害
- 偶然な外来の事故に直接起因しない受託物の電気的・機械的・事故(故障等)による損害
- 自然の消耗、劣化、変質、さび、かび、腐敗、ひび割れ、はがれ、発酵、自然発熱またはねずみ食い、虫食い等による損害
- 風、雨、雪、雹もしくは砂塵等の吹込み、漏入による損害
- 被保険者の職務遂行に直接起因する損害賠償責任
- 専ら被保険者の職務の用に供される動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任
- 被保険者と同居する親族^(*)に対する損害賠償責任
- 被保険者と第三者との間の約定によって加重された損害賠償責任
- 被保険者の心神喪失に起因する損害賠償責任
- 航空機、船舶(原動力が専ら人力であるものを除きます)または銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任
- 受託物が使用不能になったことに起因する損害賠償責任(収益減少に基づく損害賠償責任を含みます)
- 受託物について、通常必要とされる取扱い上の注意に著しく反したことはまたは本来の用途以外に使用したことに起因する損害賠償責任 など

(*)6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族をいいます。

補償内容

弁護士費用特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

日本国内における偶然な事故により保険期間中に被害^(※1)を受けた被保険者が、次の費用を負担した場合

- ①法律上の損害賠償請求を行ったときの弁護士費用等
- ②法律相談を行ったときの法律相談費用^(※2)

(※1)被害とは、被保険者が被った身体の障害または住宅・被保険者の日常生活用動産の損壊または盗取をいいます。身体の障害とは、生命または身体を害することをいいます。

(※2)被害に対する法律相談が、被害の発生日からその日を含めて3年以内に開始されたときに限ります。

保険金のお支払額

【前記「保険金をお支払いする場合」の①の場合】

当社の同意を得て支出した、約款所定の弁護士費用等の額^(※1)

【前記「保険金をお支払いする場合」の②の場合】

当社の同意を得て支出した、約款所定の法律相談費用の額^(※2)

(※1)1事故につき被保険者1名ごとに300万円が限度となります。

(※2)1事故につき被保険者1名ごとに10万円が限度となります。

※保険金をお支払いした後に次のいずれかに該当した場合は、弁護士費用等保険金の全部または一部を返還していただきます。

- ・弁護士等への委任の取消等により着手金の返還を受けた場合
- ・訴訟の判決に基づき、被害を受けた被保険者が賠償義務者から弁護士費用等の支払いを受けた場合で、「判決で確定された弁護士費用等の額と既にお支払いした弁護士費用等保険金の額の合計額」が「被保険者が弁護士等に支払った費用の全額」を超過したとき。

補償を受ける方



保険金をお支払いしない主な場合

- 被保険者相互間の事故によって発生した被害
- 被保険者の妊娠、出産、早産または流産によって発生した被害
- 診療、投薬、身体の整形、マッサージ等の被保険者に対する外科的手術その他の医療処置によって発生した被害
- 住宅または日常生活用動産自体の欠陥による被害。ただし、これにより被保険者が身体の障害を被った場合を除きます。
- 住宅または日常生活用動産自体の自然の消耗、劣化、変質、さび、かび、腐敗、ひび割れ、はがれ、発酵、自然発熱またはねずみ食い、虫食い等もしくは詐欺、紛失による被害
- 被保険者の業務遂行に直接起因する事故によって発生した被害
- 被保険者の業務の用に供される動産の損壊または盗取によって発生した被害
- 被保険者が第三者との間に損害賠償に関する特別の約定を締結している場合において、その約定によって加重された損害賠償責任に関する弁護士費用等または法律相談費用を保険金請求権者が負担することによって被る損害 など

<法律相談費用保険金のみ>

上記のほか、被保険者またはその法定相続人による、次のいずれかの事由にかかわる法律相談は対象外です。

- 婚姻、離婚、親子関係、養子、親権、後見、扶養または相続
- 売買、金銭消費貸借契約、賃借権、雇用等
- 名誉毀損、肖像権またはプライバシーの侵害等の身体障害を伴わない人格権侵害
- 日照権、騒音、悪臭等、住宅または日常生活用動産の損壊または盗取を伴わない事由
- 損害保険契約、生命保険契約等 など

オプション補償

補償内容

携行品損害補償特約(1事故限度額型)

補償重複

●新価保険特約(携行品損害補償特約用)が自動セットされます

保険金をお支払いする場合

保険期間中の偶然な事故(盗難・破損・火災など)により、携行品^(*)に損害が発生した場合

(※1)携行品とは、被保険者が住宅(敷地を含みます)外において携行している被保険者所有の身の回り品^(※2)をいいます。ただし、以下の **▲ 補償対象外となる主な携行品**を除きます。

(※2)身の回り品とは、被保険者が所有する、日常生活において職務の遂行以外の目的で使用する動産(カメラ、衣類、レジャー用品等)をいいます。

▲ 補償対象外となる主な携行品

- 船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます)、航空機およびこれらの付属品
- 自動車(自動二輪車等を含みます)およびその付属品(自動車用電子式航法装置、ETC車載器等を含みます)
- 原動機付自転車およびその付属品
- 自転車、雪上オートバイ、ゴーカート、ハンググライダー、パラグライダー、サーフボード、ウインドサーフィンおよびこれらの付属品
- 無人機、ラジコン模型およびこれらの付属品
- パソコン、タブレット端末・ウェアラブル端末等の携帯型電子事務機器およびこれらの付属品
- 携帯電話、スマートフォン、ポータブルナビ等の携帯型通信機器およびこれらの付属品
- 眼鏡、コンタクトレンズ、補聴器、義歯、義肢その他これらに類する物
- 動物および植物等の生物
- 株券、手形その他の有価証券(乗車券、定期券、通貨および小切手を含みません)、印紙、切手、預貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます)、クレジットカード、プリペイドカード、ローンカード、電子マネーその他これらに類する物
- 運転免許証、パスポート、帳簿、稿本(本などの原稿)、設計書、図案、ひな形、鋳型、木型、紙型、模型、勲章、き草、免許状その他これらに類する物。ただし、印章については補償対象となります。
- 漁具(釣竿、竿掛け、竿袋、リール、釣具入れ、クーラー、びく、たも網、救命胴衣)およびこれらに類似のつり用に設計された用具をいいます
- プログラム、データその他これらに類する物であって市販されていないものなど

保険金のお支払額

損害の額 - 免責金額(1回の事故につき3,000円)

※1回の事故につき、携行品損害保険金額が限度となります。

※損害の額は、再調達価額^(*)によって定めます。ただし、被害物が貴金属等の場合には、保険価額によって定めます。なお、被害物の損傷を修繕しうる場合においては、損害発生直前の状態に復するのに必要な修繕費をもって損害の額を定め、価値の下落(格落損)は含みません。この場合においても、修繕費が再調達価額を超えるときは、再調達価額を損害の額とします。

※損害の額は、1個、1組または1対あたり10万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等(鉄道・船舶・航空機の乗車船券・航空券、宿泊券、観光券または旅行券をいい、定期券は含まれません)もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。

※携行品が盗難にあった場合は、警察への届け出が必要となります。

(※)再調達価額とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人

保険金をお支払いしない主な場合

- 被保険者と同居する親族^(*)の故意による損害
 - 携行品の欠陥による損害
 - 携行品の自然の消耗、劣化、変質、さび、かび、腐敗、ひび割れ、はがれ、発酵、自然発熱またはねずみ食い、虫食い等による損害
 - 携行品の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみ等外観上の損傷または携行品の汚損であって、携行品が有する機能の喪失または低下を伴わない損害
 - 偶然な外来の事故に直接起因しない携行品の電氣的事故・機械的故障(故障等)による損害。ただし、これらの事由により発生した火災による損害を含みません。
 - 携行品である液体の流出による損害。ただし、その結果として他の携行品に発生した損害を含みません。
 - 携行品の置き忘れ・紛失による損害 など
- (※)6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族をいいます。

補償内容

救援者費用等補償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

救援対象者^(※1)が次の①～③のいずれかに該当したことにより、被保険者^(※2)が費用を負担した場合

- ① 保険期間中に救援対象者が搭乗している航空機または船舶の行方不明または遭難した場合
- ② 保険期間中に急激かつ偶然な外来の事故により救援対象者の生死が確認できない場合または緊急な捜索・救助活動を要することが警察等の公の機関により確認された場合
- ③ 保険期間中に被ったケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡または続けて14日以上入院した場合

(※1) 救援対象者とは、保険証券記載の被保険者本人をいいます。

(※2) 被保険者とは、この特約により補償を受ける方で、保険契約者、救援対象者または救援対象者の親族をいいます。

保険金のお支払額

救援者費用等の額

被保険者が負担した次の①～⑤の費用のうち社会通念上妥当な金額をいいます。

- ① 遭難した救援対象者の捜索、救助または移送する活動に要した費用
- ② 救援者^(※1)の現地^(※2)までの1往復分の交通費(救援者2名分まで)^(※3)
- ③ 救援者^(※1)の現地^(※2)および現地^(※2)までの行程での宿泊料(救援者2名分かつ1名につき14日分まで)^(※3)
- ④ 死亡したまたは治療を継続中の救援対象者を現地^(※2)から移送する費用
- ⑤ 諸雑費(救援者^(※1)の渡航手続費および救援対象者または救援者が現地^(※2)において支出した交通費・通信費等をいいます)。ただし、日本国外で上記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は20万円が限度となり、日本国内で上記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は3万円が限度となります。

(※1) 救援者とは、救援対象者の捜索、救助、移送、看護または事故処理を行うために現地^(※2)へ赴く救援対象者の親族(これらの方の代理人を含みます)をいいます。

(※2) 現地とは、事故発生地または救援対象者の収容地をいいます。

(※3) 上記②、③については、上記「保険金をお支払いする場合」の②の場合において救援対象者の生死が判明した後または救援対象者の緊急な捜索・救助・移送もしくは救助活動が終了した後に現地に赴く救援者にかかる費用は含みません。

※ 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、救援者費用等保険金額が限度となります。

※ 第三者からの損害賠償金がある場合はその額を差し引いてお支払いします。

行方不明時捜索費用補償特約 (救援者費用等補償特約用)

補償重複

保険金をお支払いする場合

日本国内において救援対象者^(※1)が行方不明となり、警察署に行方不明者届が受理された日の翌日の午後12時までに発見されなかった場合において、被保険者^(※2)が費用を負担したとき

(※1) 救援対象者とは、保険証券記載の被保険者本人をいいます。

(※2) 被保険者とは、この特約により補償を受ける方で、保険契約者、救援対象者または救援対象者の親族をいいます。

※ 行方不明者届が受理された時が保険期間中であった場合に限り、保険金を支払います。

保険金のお支払額

行方不明時捜索費用の額

被保険者が負担した次の①～④の費用のうち社会通念上妥当な金額をいいます。

- ① 捜索活動を有償で行うことを職業とする者からの請求に基づいて支払った、捜索活動に要した費用
- ② 救援者^(※1)の現地^(※2)までの1往復分の交通費(救援者2名分まで)
- ③ 救援者^(※1)の現地^(※2)および現地^(※2)までの行程での宿泊料(救援者2名分かつ1名につき14日分まで)
- ④ 諸雑費(救援対象者または救援者^(※1)が現地^(※2)において支出した交通費、通信費および救援対象者の捜索活動に要した費用のうち、ポスターまたはビラ等の作成もしくは新聞広告に関する費用をいい、3万円を限度とします)。ただし、上記①に該当する費用ならびに無償で捜索活動に従事した者への謝礼に関する費用は含みません。

(※1) 救援者とは、救援対象者の捜索を行うために現地^(※2)へ赴く救援対象者の親族をいい、これらの者の代理人を含みます。

(※2) 現地とは、事故発生地または救援対象者の収容地をいいます。

※ 保険金のお支払額は、保険期間を通じ、行方不明時捜索費用保険金額が限度となります。

※ 救援者費用等保険金を支払うべき損害については、救援者費用等保険金を超過する部分についてのみ、保険金を支払います。

※ 第三者からの損害賠償金がある場合はその額を差し引いてお支払いします。

補償を受ける方

左記の **保険金をお支払いする場合** に記載のとおり

保険金をお支払いしない主な場合

- 救援対象者の脳疾患、病気または心神喪失により発生した費用
- 救援対象者の妊娠、出産、早産または流産により発生した費用
- 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波により発生した費用
- 救援対象者が山岳登山(ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング等をいいます)、職務以外での航空機操縦、スカイダイビング、ハングライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間の事故により発生した費用
- 原因がいかなるときでも、むちうち症・腰痛等で医学的他覚所見のないもの^(※1)
- 入浴中の溺水^(※2)。ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。
- 原因がいかなるときでも、誤嚥^(※3)によって発生した肺炎 など

(※1) 救援対象者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。

(※2) 溺水とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。

(※3) 誤嚥とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることを行います。

補償を受ける方

左記の **保険金をお支払いする場合** に記載のとおり

保険金をお支払いしない主な場合

- 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波により発生した費用
- 救援対象者が山岳登山(ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング等をいいます)、職務以外での航空機操縦、スカイダイビング、ハングライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間の事故 など

オプション補償

補償内容

ホールインワン・アルバトロス費用補償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

日本国内のゴルフ場において被保険者が達成した次のホールインワンまたはアルバトロスについて、達成のお祝いとして実際にかかった費用をお支払いします。

- 次のア.およびイ.の両方が目撃^(*)したホールインワンまたはアルバトロス
ア. 同伴競技者
イ. 同伴競技者以外の第三者(具体的には次の方をいいます)

同伴キャディ、ゴルフ場使用人、ゴルフ場内の売店運営業者、ワン・オン・イベント業者、先行・後続のパーティのプレイヤー、公式競技参加者、公式競技の競技委員、ゴルフ場に出入りする造園業者・工事業者 など



原則として、セルフプレー中に達成したホールインワンまたはアルバトロスは保険金支払いの対象にはなりません。ただし、セルフプレーでキャディを同伴されていない場合でも、同伴キャディの目撃証明に替えて「前記イ.」の目撃証明がある場合に限り保険金をお支払いします。

- 達成証明資料^(*)2)によりその達成を客観的に証明できるホールインワンまたはアルバトロス

なお、対象となるホールインワンまたはアルバトロスは、

- アマチュアゴルファーが、ゴルフ場で、パー35以上の9ホールを正規にラウンドし、
- 1名以上の同伴競技者と共に(公式競技の場合は同伴競技者は不要です)プレー中のホールインワンまたはアルバトロスで、
- その達成および目撃証明を当社所定のホールインワン・アルバトロス証明書^(*)3)により証明できるものに限ります。

(*)1 「目撃」とは、原則ショットからカップインまでのボールの行方を連続して目視することをいいます。例えば、達成後にボールがカップインした状態だけを目視した場合は、「目撃」には該当しません。

(*)2 達成証明資料とは、ビデオ映像等によりホールインワンまたはアルバトロスの達成を客観的に確認できる記録媒体に記録された映像等資料をいいます。

(*)3 当社所定のホールインワン・アルバトロス証明書には次のすべての方の署名または記名・押印が必要です。

- (a) 同伴競技者
- (b) 同伴競技者以外のホールインワンまたはアルバトロスの達成を目撃した第三者(達成証明資料がある場合は不要です)
- (c) ゴルフ場の支配人、責任者またはその業務を代行もしくは行使する権限を有する者

保険金のお支払額

次の費用のうち実際に支出した額

- 贈呈用記念品^(*)1)購入費用
- 祝賀会に要する費用
- ゴルフ場に対する記念植樹費用
- 同伴キャディに対する祝儀
- その他慣習として負担することが適当な社会貢献、自然保護^(*)2)またはゴルフ競技発展に役立つ各種費用、ゴルフ場の使用人に対する謝礼費用、記念植樹を認めないゴルフ場においてホールインワンまたはアルバトロスを記念して作成するモニュメント等の費用(ただし、保険金額の10%が限度となります)

(*)1 贈呈用記念品には、貨幣、紙幣、有価証券、商品券等の物品切手、プリペイドカードは含まれません。ただし、被保険者が達成を記念して特に作成したプリペイドカードは贈呈用記念品に含みます。

(*)2 自然保護には、公益社団法人ゴルフ緑化促進会への寄付をご希望される場合などを含みます。

※保険金のお支払額は、1回のホールインワンまたはアルバトロスごとにホールインワン・アルバトロス費用保険金額が限度となります。

※ホールインワン・アルバトロス費用を補償する保険を複数(当社、他の保険会社を問いません)ご契約の場合、ホールインワン・アルバトロス費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い保険金額が限度となります。

※保険金のご請求には当社所定のホールインワン・アルバトロス証明書および各種費用の支払いを証明する領収書等の提出が必要となります。

補償を受ける方



保険証券記載の被保険者本人

保険金をお支払いしない主な場合

- 日本国外で達成したホールインワンまたはアルバトロス
 - ゴルフ場経営者がその経営するゴルフ場で達成したホールインワンまたはアルバトロス
 - ゴルフ場の使用人^(*)が実際に働いているゴルフ場で達成したホールインワンまたはアルバトロス など
- (*) 「ゴルフ場の使用人」には、臨時雇いを含みます。

<用語のご説明>

ゴルフ場	日本国内に所在するゴルフ競技を行うための有料の施設で、9ホール以上を有するものをいいます。
アルバトロス	ホールインワン以外で、各ホールの基準打数よりも3つ少ない打数でカップインすることをいいます。
目撃	被保険者が打ったボールがホールにカップインしたことを、その場で確認することをいいます。例えば、ショットからカップインまでのボールの行方を連続して目視せずに、達成後にボールがカップインした状態だけを目視した場合は該当しません。
同伴競技者	被保険者がホールインワンまたはアルバトロスを達成した時に、被保険者と同一組で競技していた方をいいます。
同伴キャディ	被保険者がホールインワンまたはアルバトロスを達成したゴルフ場に所属し、被保険者のゴルフ競技の補助者としてホールインワンまたはアルバトロスを達成した時に使用していたキャディをいいます。

オプション補償

補償内容

育英費用補償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

扶養者^(※1)が、保険期間中の事故によるケガのため、事故の発生日からその日を含めて180日以内に死亡した、または重度後遺障害^(※2)の状態になった場合

(※1) 扶養者とは、被保険者を扶養する方で、保険証券の扶養者欄に記載された方をいいます。

(※2) 重度後遺障害とは、後遺障害のうち、両眼の矯正視力が0.02以下になった場合、神経系統の機能等に著しい障害を残し、随時介護を要する場合等をいいます。

保険金のお支払額

育英費用保険金額の全額

※育英費用を補償する保険を複数(当社、他の保険会社を問いません)ご契約の場合、育英費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い保険金額が限度となります。

傷害による家事代行費用等補償特約 疾病による家事代行費用等補償特約

補償重複

保険金をお支払いする場合

入院対象者^(※1)が治療^(※2)のために入院した場合において、家事従事者^(※3)が家事に従事できなくなったことにより、その家事従事者の行うべき家事を代行するために入院対象者^(※1)または入院対象者と生計を共にする親族が次の費用を負担したとき。

- ホームヘルパー雇入費用
- 清掃代行サービス業者利用費用
- ベビーシッター雇入費用
- 託児所・保育所等の費用
- クリーニング費用(配送費も含まれます)

(※1) 入院対象者とは、保険証券記載の被保険者本人をいいます。

(※2) 傷害による家事代行費用等補償特約の場合は事故によるケガ、疾病による家事代行費用等補償特約の場合は疾病の治療をいいます。

(※3) 家事従事者とは、入院対象者または入院対象者と生計を共にする親族のうち、炊事、掃除、洗濯等の家事を行っている方をいいます。

保険金のお支払額

上記「保険金をお支払いする場合」の
入院期間中に被保険者が負担した
代行費用の額

－
免責金額
(1回の事故につき5,000円)

※保険金のお支払額は、1回の事故につき、支払限度基礎日額×代行費用を負担した総日数(180日を限度とします)が限度となります。

補償を受ける方

この特約内で別途定める被保険者

保険金をお支払いしない主な場合

- 扶養者の脳疾患、病気または心神喪失によるケガ
- 扶養者の妊娠、出産、早産または流産によるケガ
- 扶養者が、被保険者を扶養していない場合
- 入浴中の溺水^(※1)。ただし、当社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。
- 原因がいかなるときでも、誤嚥^(※2)によって発生した肺炎 など
※細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。
- (※1) 溺水とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
- (※2) 誤嚥とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることを入ります。

補償を受ける方

左記の「保険金をお支払いする場合」に記載のとおり

保険金をお支払いしない主な場合

<傷害による家事代行費用等補償特約>

本パンフレット別冊P.1の「保険金をお支払いしない主な場合」の「被保険者」を「入院対象者」と読み替えます。その他、以下の場合があります。

- 入院対象者の病気、脳疾患または心神喪失によるケガ
- 入浴中の溺水^(※1)。ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。
※細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。

<疾病による家事代行費用等補償特約>

- 原因がいかなるときでも、むちうち症・腰痛等で医学的他覚所見のないもの^(※2)
- 入院対象者が被った精神障害およびそれによる病気
- 入院対象者の妊娠または出産。ただし、公的医療保険を定める法令に規定された「療養の給付」等の対象となるべき期間については、保険金をお支払いします。
- 保険期間の開始時(継続契約の場合は継続されてきた最初のご契約における保険期間の開始時)より前に発病した病気(その病気と医学上因果関係のある病気を含みます)^(※3) など

(※1) 溺水とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。

(※2) 入院対象者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。

(※3) この特約をセットしたご契約に継続加入された場合で、被保険者が発病した時が、その病気(その病気と医学上因果関係のある病気を含みます)による入院を開始した日から保険契約の継続する期間を遡及して1年以前である場合は、保険金お支払いの対象となります。

生活サポートサービス 日常生活に役立つさまざまなサービスをご用意しております。

健康・医療	■健康・医療相談 ■医療機関総合情報提供 等	情報提供・紹介サービス	■子育て相談(12才以下) ■暮らしの情報提供 等
介護	■介護に関する情報提供 ■介護に関する悩み相談 等	認知症・行方不明時の対応相談	■認知症に関する情報提供と悩み相談 ■認知症の方の行方不明時の対応に関する相談 等
暮らしの相談	■暮らしのトラブル相談 ■暮らしの税務相談		

当社ホームページの「健康・介護ステーション」でも健康・医療、介護に関する情報をご提供します。

*サービス受付のご利用時間・電話番号は、ご契約後にお届けする「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」の案内をご覧ください。

*お使いの電話回線により、ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。

*本サービスは、当社提携サービス会社にてご提供します。海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。

*本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご契約者さま専用のインターネットサービス



いつでも、どこでも、つながる安心
ご契約者さま専用ページ



便利1 契約内容の確認・変更

最新のご契約内容を確認いただけます。
「ご契約者さまの住所・連絡先」等を変更できます。

引越をしたけど、どこに連絡すればいいの？

便利2 事故連絡・対応状況の確認

スマートフォンからいつでも事故のご連絡や、事故対応の状況をご確認いただけます。

事故の対応状況を確認したいけど、日中は電話ができない…

便利3 お役立ち情報の配信

お住まいの地域で災害が発生した際に、事故受付の連絡先等をご案内します。

万が一の事故や災害時に慌てないように、備えはできる？

ご契約内容や「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」を「ご契約者さま専用ページ」でご確認いただくために、eco保険証券とWeb約款をご選択いただくことをおすすめします。「eco保険証券・Web約款」の詳細は下記をご覧ください。

ご利用方法 面倒な登録手順は不要! ご契約手続き時に自動でユーザーIDが作成されます(※)(初回ログイン時のみ、ご本人確認等が必要です)

各種便利なサービスをご利用いただけますので、ご契約後すぐのログインをおすすめします!



スマートフォンなら、「LINE」やアプリからかんたんに「ご契約者さま専用ページ」をご利用いただけます。

「LINE」からログインする場合の設定手順

- 「三井住友海上」を友だち追加(右図の二次元コードから)
 - メッセージのURLにアクセスしてログイン
- ※「LINE」はLINEヤフー(株)の登録商標です。



「スマ保」アプリからログインする場合の設定手順

- 「スマ保」(三井住友海上が提供するスマートフォン用アプリ)をダウンロード(右図の二次元コードから)
- 「スマ保」トップ画面から「ご契約者さま専用ページ」を登録



(注) 当社の保険をご契約される個人のお客さま向けに、ご契約時に「ご契約者さま専用ページ」のユーザーIDを自動で発行し、SMSでご案内します。※一部のご契約は、お手続き時に「ご契約者さま専用ページ」のユーザーIDが自動で登録されません。その場合、「eco保険証券専用ハガキ」や当社公式サイトから、「ご契約者さま専用ページ」へご登録いただくことでご利用いただけます。

保険のできるエコ、はじめよう

eco保険証券とWeb約款をおすすめします!

ご契約内容や「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」は、パソコンやスマートフォン等から「ご契約者さま専用ページ」でご覧いただけます。ぜひ、ご活用ください。

eco保険証券・Web約款をご選択いただいた場合、「eco保険証券」のご利用方法を記載した「ご契約内容 確認方法のご案内(eco保険証券専用ハガキ)」を送付します。書面の保険証券・保険契約継続証と「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」の送付は行いません。

eco保険証券とWeb約款を新たにご選択いただいた場合、当社は地球環境保護への取組等に寄付を行います。

※法人のご契約者さま向けには「法人eco保険証券」をご用意しています。詳細については、代理店・扱者または当社までお問い合わせください。



大切なご親族を見守りたいあなたへ。保険契約に関する連絡先としてご親族を登録できる制度があります。

家族Eye(親族連絡先制度)

ご契約者さまが、ご親族の同意を得たうえで、保険契約に関する緊急連絡先としてご親族1名を登録する制度です。保険期間の途中でもご登録いただけます。

どんな時に役に立つの？

- ご登録いただいた親族(以下、「連絡先親族」といいます)から、ご契約者さまの契約情報に関してお問い合わせいただいた場合、証券番号の確認および本人確認を行ったうえで、契約情報をお答えします。
- ご契約者さまと連絡が取れない等の緊急時に、当社または代理店・扱者から、連絡先親族へご連絡します。



このような方にぴったりの制度です。

(例)・自分自身に何かあった際の不安を解消するために、遠方に住む子どもや親族を緊急連絡先としたい、というご高齢の方

・両親が高齢であり、万一の際には自分がサポートしたい、保険に関することで両親と連絡が取れない場合は代理店・扱者または保険会社から直接連絡がほしい、というお子さま

※家族Eye(親族連絡先制度)の登録方法や詳細については、代理店・扱者または当社までお問い合わせください。

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

本店 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 三井住友海上 駿河台ビル

〈チャットサポートやよくあるご質問などの各種サービス〉

こちらから

https://www.ms-ins.com/contact/cc/

〈お客さまデスク〉0120-632-277(無料)

こちらから

アクセスできます▶



● ご相談・お申込先